

JAL × IBM モバイル・アプリを共同開発し整備士の働き方を変革

～整備専用のモバイル・アプリで整備士業務を変革し、
航空機の品質と定時性のさらなる向上を目指します～

日本航空株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:植木 義晴、以下「JAL」)(*)と日本アイ・ビー・エム株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:ポール与那嶺、以下「IBM」)は、航空業界における整備士の働き方を変革することを目的に、スマート・シンプル・スタンダードをキーワードとして共同で航空機整備業務専用の IBM MobileFirst for iOS アプリを開発しました。

(*)実際のアプリ開発は JAL/J-AIR 機材の整備を担っている株式会社 JAL エンジニアリング(本社:東京都大田区、代表取締役社長:赤坂 祐二)が行っています。

このアプリは iPhone や iPad で利用可能であり、整備士が航空機整備を効率的に行うため場所を選ばず必要な情報の閲覧や入力などを行うことができるとともに、世界のエアライン整備士が活用できる業界標準アプリとなることを目指した作り込みを行っています。

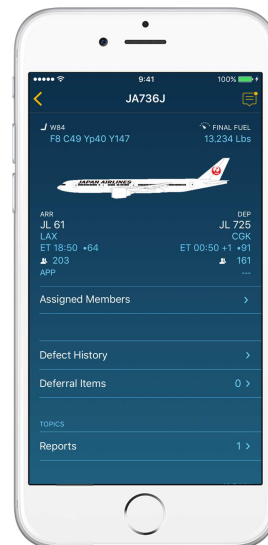
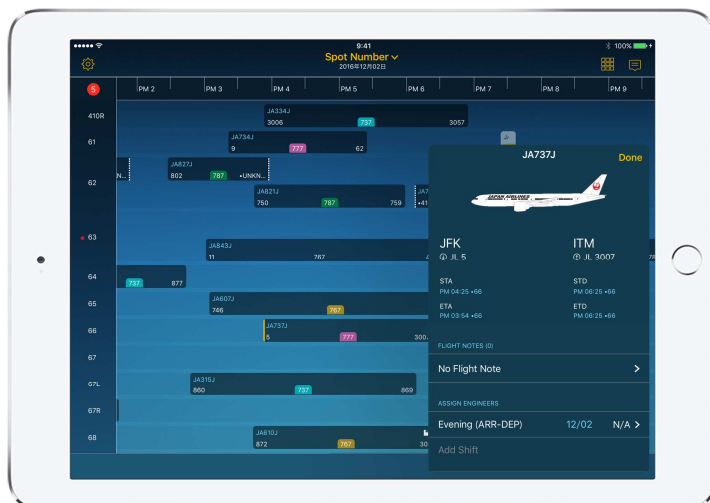
JAL はこのアプリを活用して整備士の業務を変革し、航空機の品質と世界トップの定時性のさらなる向上を目指すとともに、整備士の新しい働き方の世界標準を日本から発信します。

アプリについて

導入時期: 2017年4月～

概要: 現在の運航整備では、航空機が到着する前に整備士がオフィスで複数のシステムを操作し、事前に担当する航空機のフライト・スケジュールや過去の整備記録を確認しています。また実施した整備内容を紙に記入した後、オフィスに戻ってシステムにも入力して記録するなど、煩雑な事務作業をこなしています。

今回開発するアプリを活用することにより、整備士はこれまでオフィスで行っていた事務作業のほとんどを、iPhone を使って場所を選ばず実施できるようになります。さらに画像や動画もアプリ上で手軽に活用でき、航空機の状況をタイムリーに関係者間で共有することが可能になります。また発着予定時刻などのフライト・スケジュール、ゲートの変更といった最新情報を iPhone のアラート機能を活用してタイムリーに受け取り、迅速な対応が可能となります。



IBM MobileFirst for iOS について

IBM MobileFirst for iOS アプリの詳細は下記ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.ibm.com/mobilefirst/jp/ja/mobilefirst-for-ios/>

<http://www.apple.com/jp/ipad/business/work-with-apple/ibm/>

iPhone および iPad は米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

以上